



# ゴロスケ報々



## 事務局からのお知らせ

### ●行事予定のおしらせ●

#### ・「横浜自然観察の森友の会秋まつり」について

前日（24日）18：30以降の友の会ブログ（森でのできごと）で開催・中止を確認してください。

24日の段階で「開催」と判断しても、当日の朝の降水確率が50%以上の場合は中止します。

#### ・望年会

12月23日（水・祝）9：00～14：00 雨天決行 会員対象の行事です。

例年のようにごみ拾いハイキング、餅つき、豚汁づくり、焼き芋を楽しみながら会員相互の親睦を深めたいと思います。会員の皆さん多数の参加をお待ちしています。

持ち物：飲み物、お椀、はし、軍手、ごみ袋、（必要なら）昼食

※つきたてのお餅、豚汁、焼き芋をみんなで食べますので、昼食は考えてお持ちください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

### ●9月定例会報告●

日時 2015年9月20日(日) 13:00~15:30  
出席者 青木、上原、大浦(議長)、落合、片岡、中里、橋詰、半田、村松、山口、渡部(書記)  
古南R、掛下R

#### 議題

1. 行事報告 友の会の7月下旬~9月上旬の行事報告、PJ報告をしました。いずれも年間計画通りに実施しました。
2. 行事予定 9月下旬~12月上旬の行事予定を確認しました。
3. ゴロスケ館利用予定 9月~12月の利用予定を確認しました。
4. ネットワーク関連
  - ・「柴田敏隆さんを語る会」が9月12日(土) かながわ労働プラザ(石川町)で開催され、山口さん、秋元さんが参加しました。
5. 事務局より
  - ・「秋まつり」の役割分担をしました。
  - ・金沢まつりいきいきフェスタ「横浜つながりの森」コーナーへ友の会として出店します。皆さんぜひおいでください。10月17日(土) 午前10時~15時30分 雨天翌日
  - ・8月17日(月)~8月31日(月)、栄区本郷台駅前駐輪場スポットで、友の会紹介の展示を行いました。準備・片づけをしてくださった会員の皆様、ありがとうございました。
  - ・カレンダー販売の担当PJを決めました。行事の時の販売、よろしくお願いします。
6. センターから
  - ・補修工事関係の報告がありました。
  - ・友の会行事の広報について  
広報については各PJ担当のレンジャーと相談してください。  
直接マスコミに連絡した場合は、PJ担当のレンジャーにお知らせください。センターに問い合わせがあった場合に、対応してもらいます。  
その他、「センターだより」のページをご覧ください。

次回定例会は  
11月15日(日) 13:00~  
センター研修室  
※定例会は会員の方どなたでも参加できます。

### ●「本郷台駅前駐輪場 展示スポット」への出展終了!!●

8月17日(月)~30日(日)の2週間、「友の会」のPRを目的に表題展示スポットに、「友の会紹介パネル」「プロジェクト活動の写真」「手作り作品」等を出展しましたが、31日(月)無事終了致しました。

お忙しいところ、搬入展示/撤去搬出の作業をお手伝い頂きました皆様、ありがとうございました。  
事務局/片岡 章

## 定例行事の報告

### ●森のボランティア体験 報告●

日時: 8月16日(日) 9:30~14:00  
テーマ: セミのぬけがら探しを体験  
メンバー4名 参加者5名

参加者5名のうち、お1人は新しく入会されたが、まだ活動内容未定の方、母娘、に学生インターンとレンジャー体験の各一名というコンパクトな体験会でした。

オリエンテーションの後、フィールドのガイドウォークに並行して「セミのぬけがら探し」をどんな場所で、どう進めていくか体験してもらいました。

終了後、ゴロ報の発送作用にも全員参加で協力していただきました。

報告 自然と遊ぼう(村松)

## 森のこぼれ話 ふむふむ

### 場所はちがっても

#### 1. 「伊勢神宮の森」

脳科学者の言う神宮の森へ行くと他と比較できないユニークなクオリアが間違いなく感じられるとの言葉に引かれ、私の内側にどのようなクオリアが感じられるか、期待と不安で初めて神宮に足を踏み入れた。

巨木の間から立ち上がる空気・光・木の香りに、すっぽりと包まれた時の他の場所とは違った体感、長い長い年月、森を畏れ、まつり、大切に守り支えてきた人々の営みと、それを包む自然の営み（神宿る森）が、私に実際に向き合うことでしか出会えないクオリアを感じさせてくれた。

およそ宗教とは無縁の日常を過ごしているが、西行法師が詠んだ「何事のおわしますかは 知らねども かたじけなさに 涙こぼるる」に共鳴！

#### 2. 「カスタニアンの樹」マロニエ（セイヨウトチノキ）・ナチスドイツ強制収容所（チェコ）

若い女性は近いうちに、自分が死ぬことを悟っていた。それにもかかわらず、V. E. フランクル（「夜と霧」の作者）が彼女と話をしたとき、じつに晴れやかな表情をしていた。

最後の日々に彼女は内面的にどんどん深めていったのだ。バラックの小さな窓から「カスタニアンの樹」の緑の枝が見えた。

「あの樹が一人ぼっちのわたしのただ一人のお友達なんです。あの樹とよく話をするんです。」

「あの樹はあなたに何か返事をしましたか？」

「樹はこういうんです。わたしはここにいる——わたしはここにいる——わたしはここにいるよ、永遠の命だ——」

私の思いや言葉なんて必要ないですね。

#### 3. 「落ち葉プール」

私達「自然と遊ぼう」のメンバーも、子供も大人も大好きな「落ち葉プール」。

その落ち葉を提供してくれる観察の森の多くの子供たちが中心になり、大きな竹ぼうきと、子供曰く“巨大なちりとり”で荷車へ落ち葉を積みこむ作業に、自分がやると張り切っている子供達は、見事な落ち葉の山を作り、潜ったり、気持ちよさそうに寝転んだり、お父さんに落ち葉プールへ飛び込ませてもらったり、空へ向かって吹雪のように飛ばしたり、子供達の歓声と笑顔は大人達も引き込みます。アイドル並みのカメラの列、嬉しそうな大笑いは“森に吸い込まれ”木々の栄養に勝手に思っています。

余談・幼稚園生のA君

「これから近くの落ち葉プールへ行って、パンツ一枚になって泳ぐのよ」の私の声掛けに素早く反応し、寒風の下、ジャンパーを脱ぎ、セーターを脱ぎにかかり……。お母さんと私は大慌て、A君はニッコリでした。

自然と遊ぼう 新倉 房子

## 友の会活動報告

### ●森の作業体験「間伐」の活動報告●

実施日 7月25日

参加者 一般参加

4組9名、 会員 14名

7組17名の参加希望者があったが、子供の体調不調との連絡で3組8名の辞退者がいたので9名で間伐体験を行った。

横浜自然の森で行う間伐(除伐)の保全活動を説明し、クヌギ林へ。クヌギ林にある木一本(いろは紅葉) 徐伐をした。昼食後、除伐した木でコースター作りを行った。

### ●森の絵本を楽しもう・夏休み編 報告●

「夜の森を歩こう」

8月26日(水)、心配した雨が上がったものの、気温が低くクツワムシが鳴かないと思われました。また、カラスウリのつぼみが折れたりしていたのでどうなるか不安なででした。定刻の18時30分には7家族16名の参加いただきスタートすることができました。絵本の会がナイトウオークをして感動したことから作り始めた絵本「月夜のおまつり」を未完成ながら説明しました。そしていよいよ暗くなった森をめざしました。

初めのうちは空を見上げてコウモリがいない、樹液のここではカブトムシがいないとなんだかがっかりしていた男子がいました。それでもわたしたちの説明に耳をかたむけてくれて、クモのワキグロ サツマノミダマシ・樹液・カラスウリの花・セミの幼虫のでてくる穴を見たり、自分たちで虫を見つけたりしてその都度盛り上がりました。最後はもんきちょうの広場で全員ライトを消しました。クツワムシが鳴いていました。星のない空でしたがこぐま座とさそり座の神話を披露して終わりました。

センターに戻るとき、クズの茂みの中にガチャガチャと鳴いているクツワムシの姿を見ることができました。全員感動につつまれました。見つけてくださったチーフレンジャーの古南さん・ありがとうございました。センターに戻ってみなさんに感想をお聞きして「夜の森を歩こう」は終わりました。夜も森はいきいきとしていることを感じ、この夜見た虫や花はみんなの宝物になったような気がしました。

最後になりましたが企画からサポートしていただいたレンジャーの尾崎さん・ありがとうございました。

森の絵本づくりの会 志釜じゅんこう

## 友の会活動報告

### ●栄高校の森の作業体験「除伐」の活動報告●

実施日 7月29日

参加者 一般参加28名、 会員10名

6組に編成し生態園の樁の除伐を体験してもらった。

雑木林ファンクラブ橋詰

### ●ミズキの池ハイド前の環境整備を行いました●

日時 平成27年9月6日(日) 9時～10時

参加者 スタッフ4名 会員参加者3名

今年も例年通りミズキの池でハイド前の草刈りを実施しました。今年は「鳥くら」さんから3名の会員参加者を得て、応援のレンジャー1名を含めて計8名での作業となりました。

ご自分の使い慣れた鎌を持参された方もいたおかげでハイド前はあっという間にきれいになりました。

来年もまた参加大歓迎です。

カワセミファンクラブ 佐々木

### ●森の作業体験「炭焼き」の活動報告●

9月19日の森の体験(炭焼き)の活動を報告します。

活動時間 9時から14時

参加人数 スタッフ18名 参加者12名

雑木林ファンクラブ橋詰

### ●横浜自然観察の森で「草刈り」の体験をしよう●

- 日時 : 2015年11月21日(土) 10~14時
- 場所 : 横浜自然観察の森(栄区) 炭小屋(集合場所も同じ)
- 募集 : 小学生以上30名、小学生保護者同伴
- 申込方法・締め切り等
  - ・自然観察センターへのFAX、あるいは電子メールでお申し込み下さい
  - ・参加者全員の氏名 年齢 代表者の電話番号を記入のうえ  
下記までお申し込み下さい  
FAX : 045-894-8892 (自然観察センター)
  - または、E-Mail : kansatsunomori@gmail.com
  - ・締め切り : 11月13日(金)
- 当日の内容 : 草刈りの作業体験、コースター作り等
- 雨天・荒天時について :  
前日18時30分以降の天気予報で、降水確率50%以上の場合は中止とします
- 服装・持ち物について :  
汚れてよい服装(長袖・長ズボン)・スニーカー・帽子・手袋・汗拭きタオル・昼食・飲物
- 問合せ先  
横浜自然観察の森 自然観察センター  
横浜市栄区上郷町1562-1  
045-894-7474 (9:00~15:00 月曜休館)  
あるいは、上記eメールまで
- 主催 : 横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ  
(雑木林ファンクラブも会員募集中です)

このイベントは 花王、みんなの森作り活動助成をうけておこなわれます

### ●2015年度「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」●

身近な自然の素材を使って、生きものたちのくらしやそのつながりをわかりやすく伝える自然案内「インタープリテーション」、そのスキルとプログラムの作り方を、体験的に学ぶ二日間のコースです。横浜自然観察の森の定例のガイドウォークの実践的な視点やノウハウを皆さんと共有しながら講座を進めます。

自然案内人を目指す方、自然観察会などの運営にかかわっている方だけでなく、自然の見方を更に深く学びたい方にもお勧めします。

また、希望者は横浜自然観察の森のボランティアとして勉強を続けることも可能です。

期日 : 2015年11月28(土)・29日(日) 9:30~16:00 (二日間コース)

場所 : 横浜自然観察の森(横浜市栄区) <http://park15.wakwak.com/~yokohama/>

内容 :

(一日目) 自然のメッセージを受け取る多様な視点に気づこう

(二日目) 自然のメッセージをわかりやすく伝えてみよう

定員 : 20名(先着順)

参加費 : 1000円/人・二日間(横浜自然観察の森友の会会員は500円)

申込締切 : 定員を超えた時点、または10月25日(土)

問合せ、申し込み :

電子メール [kansatsunomori@gmail.com](mailto:kansatsunomori@gmail.com)

氏名、〒住所、緊急連絡電話、メールアドレス(携帯も可)、簡単な受講動機

## おしらせ・お願い

### ●アライグマ捕獲ワナの巡回ボランティアを募集しています

昨年度から本格的に始動したアライグマの捕獲を今シーズンもおこないます。ワナによる捕獲は日々の巡回が必要なため、今回も巡回のお手伝いをさせていただきボランティアを新規に募集いたします。

◆内容 11月～3月のご都合のよい平日午前中(30分～1時間程度)ワナを巡回し、捕獲の有無とエサの補充をしていただきます。

★ご協力いただける方はレンジャーの掛下までお名前をご連絡ください。  
(電子メールは [kakesita@wbsj.org](mailto:kakesita@wbsj.org)) どうぞよろしくお願いいたします。



### ●主催行事のサポーターを募集中

「いきものを知る守るシリーズ「林の野鳥調査隊」(小学生とその保護者対象の行事)

◆日時 調査編：12月5日(土) 10:00～15:00  
保護編：2016年1月16日(土) 10:00～14:00

★お申込み・お問合せは、レンジャー藤村までお気軽にどうぞ (電子メール：[fujimura-k@wbsj.org](mailto:fujimura-k@wbsj.org))  
サポーターの方の生き物の知識の多寡は問いません。主に安全管理についてご協力いただきます。  
きっと、観察の森の新たな魅力を発見できますよ！

### ●工事と作業の予定

◆長倉口の野外トイレの改修工事は3月まで延長

・トイレの建て替えの工事の期間が延長になりました。3月末までには終了する予定です。現在のトイレは3月ごろ閉鎖し、完成までの間は仮設トイレを設置します。

◆業者さんによる園内の樹木の伐採、草刈

・環境管理のため、過去に植栽された樹木等、横浜市本来の自生種でない樹木や竹の伐採を順次行っていきます。(竹林のモウソウチク、生態園のミズナラ、桜林のソメイヨシノ等)

◆以上について、園内の生物に極力影響が出ないように進めて行きますが、お気づきのことやご要望があれば、レンジャー古南、瀧本までご連絡ください。

◇ピクニック広場は引き続き、広域水道企業団による水道施設の耐震工事が行なわれているため、2017年1月31日までの期間、使用できません。

◇一時的に利用できない箇所が発生する場合には、わかり次第、自然観察センターのウェブページや友の会のメーリングリストに掲載します。何かとご不便をおかけしますが、利用者の皆さんの利便性・安全性向上と環境の改善のための作業ですので、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

## 保安全管理計画のフォローアップ

### ★保安全管理フォローアップの会★ 報告

第3回 9月5日(土) 13:00～16:00 保安全管理の勉強会

勉強会：桜林・炭小屋裏の植生データを読む 講師：中村幸人先生(東京農大教授)



○参加者 友の会他 14名 (橋詰齊さん、片岡章さん、藤原功さん、大越哲朗さん、橋本雅夫さん、山田靖彦さん、落合道夫さん、村松古明さん、水上重人さん、上原明子さん、篠原由紀子さん、山路智恵子さん、高橋百香さん、沖由紀子さん)

横浜市(藤田智さん)、レンジャー(古南幸弘、瀧本宏昭、掛下尚一郎)

○内容 桜林と炭小屋裏について、植生の記録がたまってきましたので、この結果をどう読み、今後の作業計画に生かすか、ということについて、専門家のアドバイスを受けました。講師は、保全管理計画を作る際にもお世話になった中村先生です。

最初に座学で先生から、植生とはどういうものか、というお話があり、次にフィールドで、実際の林を見ながらお話をうかがいました。桜林では、昨年～昨年にサクラ類を伐採した後、日あたりがよくなり、つる植物が繁茂して来ていますが、これは放っておくと次の低木や高木が育たずやぶのままになってしまうおそれがあるので、どの程度やぶを残していくのかを考えて作業をした方がよいとのことでした。また今年の初めにシラカシ等の常緑樹を伐採した跡では、低木や高木が順調に育ってきているのを確認しました。

雑木林ファンクラブの皆さんが1年がかりで調査をしてきた炭小屋裏では、目標である常緑・落葉の混合した林に導くためには、スギやヒノキを一度に伐るのではなく、日陰を残しながら、徐々に間伐していく形が望ましいとの示唆を受けました。

## 次回 11月5日(土) 13:00~15:00 内容:桜林の植生管理計画

前回の勉強会の結果を受けて、伐採計画を少し手直しします。またやぶのつる植物の管理を一部試行します。園内の環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は前日までに古南、瀧本までご連絡ください。

## ★クツワムシ分布調査(8/15・22・29・9/5・12)

「ガチャガチャ」の異名でもおなじみのクツワムシは、林縁や林内のつる植物の多いやぶに生息しますが、こうした性質からか、各地で数が減っています。園内では桜林やモンキチョウの広場等、草刈や伐採を行う場所に多いので、うまくやぶを残せているかどうかの指標として、3年前から調査を行っています。

今年は園内の草地や林縁をできるだけ網羅するコースを設定し、毎回同じコースを歩いて調べました。8月15日から9月12日の合計5回、毎回土曜日の18:30頃から歩き始めて21時過ぎまで調べたところ、8月15日には既に8頭が鳴いていました。今年は少し早かったようです。いちばん多く記録されたのは8月22日の28頭で、最終回の9月12日は0でした。調査には友の会から以下の方に参加いただきました。ありがとうございました。石塚康彦さん、水上重人さん。

ホラソライアサ

8/7~10/8

ありがとう

- 8/8 雑木林ファンクラブ 橋詰齊さん:関係者用駐車場の草刈り
- 8/16 自然と遊ぶの皆さん:レンジャー体験実習生、アクションポート横浜インターン生受け入れ
- 8/22 石塚康彦さん:クツワムシ調査 8/29、9/5も
- 9/5 水上重人さん:クツワムシ調査
- 9/5 保全管理フォローアップの会にご出席いただいた皆さん
- 9/12、10/3 漆原弘光さん:「草地のバッタ調査隊」のサポート
- 9/23 雑木林ファンクラブの皆さん:薪ストーブ用薪の提供
- 8/7~10/8 カワセミファンクラブの皆さん:展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
- 8/7~10/8 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん:開花情報のご提供



横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:[yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org)

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

イラスト・黒川マリア

# 行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●季節行事●

### ●森の作業体験「炭焼き」

11/21 (土) 10:00～14:00  
 集合：炭小屋  
 対象：小学生以上30名、小学生保護者同伴  
 ※要申込み (FAXかEメール) 締切11/13  
 →5ページ参照

### ●いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座

11/28 (土)、29 (日) 二日間  
 9:30～16:00  
 ※要申込み (Eメール) →5ページ参照

### ●望年会

12/23 (水・祝) 9:00～14:00  
 雨天決行  
 対象：友の会会員  
 持ち物：飲み物、お椀、はし、軍手、ごみ袋、(必要なら) 昼食  
 →1ページ参照

## ●センター主催行事●

### ■【親子でバードウォッチング～鳥って何食べてる?～】

日時：11/29 (日) 10:00～13:30  
 対象：6歳～中学生とその保護者 30名  
 申込締切：11/15

### ■【林の野鳥調査隊～調査編～】

日時：12/5 (土) 10:00～15:00 (雨天時は12/12)  
 ※連続講座です。保護編は1/16 (土)  
 対象：小学生とその保護者 40名  
 申込締切：11/21

●申込はイベント名、全員の氏名、(お子様の年齢)、  
 電話番号、返信先を書いて Eメール FAX、往復  
 はがきで

☆ボランティアさん募集! ご興味のある方はレン  
 ジャーまで 担当：自然観察センター

## ●定例行事●

### ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～  
 12/20 (日) 9:30～14:00 雨天催行  
 受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
 対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴  
 \*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2015年10月18日  
 発行 横浜自然観察の森友の会  
 F A X 045-894-8892  
 E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●定例行事●

### ●季節の森を歩こう (園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
 11/1 (日)・12/6 (日)  
 1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
 受付：30分前から 自然観察センター前にて  
 対象：どなたでも  
 担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●定点カメラで動物調査

11/14 (土)  
 9:30～12:00  
 ※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センタ  
 ーに確認のこと。  
 対象：友の会会員向け  
 持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴  
 で。タオル、水筒持参  
 集合：ゴロスケ館集合  
 活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

### ●みんなでバードウォッチング (野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～  
 11/8 (日)・12/13 (日)  
 9:00～13:00 雨天中止  
 受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
 担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～  
 11/18 (水)・12/16 (水)  
 10:00～12:00 絵本作  
 受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
 担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～  
 11/21 (土)、12/19 (土)  
 10:00～12:00 雨天中止  
 受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
 担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

### ●自然と遊ぼう (園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
 10/24 (土)・11/28 (土)・12/12 (土)  
 1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
 受付：30分前から 自然観察センター前にて  
 対象：子どもから大人までどなたでも  
 担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜  
 (※12月のみ第2土曜)